

『よみがえられたイエスさま』

マタイによる福音書 28 章 1～10 節

イエスさまは、人々に神さまの愛を伝え、人々を愛し続けました。そして、イエスさまを信じる人々が増えていきました。でも、そんなイエスさまのことをよく思わない国の偉い人たちの力によって、イエスさまは罪人のように捕まえられ、十字架に架けられ、苦しまれて、亡くなりました。

イエスさまのことが大好きだったマグダラのマリアともう一人のマリアは、あれから 3 日経った日曜日の朝早く、イエスさまのお墓に急いで出かけて行きました。亡くなったイエスさまの体に良い匂い油を塗るためです。

ところが、お墓に着くと、大きな地震が起こり、天使が目の前に現れ、お墓の穴を塞いでいた大きな石の扉を転がし、その上に座りました。番兵は驚いて震えあがり死んだように動けません。天使は言いました。

「恐れることはありません、ご婦人たち。十字架につけられたイエスさまを捜しているのですか。でもあの方はここにはおられません。前からの約束通り、よみがえりになったのです。さあ、お墓を覗いてごらんください。空っぽです。また急いで行って弟子たちにこう伝えてください。『あの方は、死んでよみがえられました。そしてあなたたちより先に、ガリラヤの湖の方へ向かっておられます。そこでお目にかかれるでしょう。』 確かにつたえましたよ。」

マリアたちは大変驚きました。でも本当に喜びました。そこでお墓に背中を向けて急いで弟子たちのところへ出かけて行きました。すると、途中の道で、イエスさまが立っておられ、「おはよう」と呼びかけられました。

マリアたちはイエスさまに近寄り、その足を抱きしめ、足元にひざまづきました。イエスさまは言われました。「恐れることはありません。行って弟子たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこで私に会えます」。

こうして弟子たちはよみがえられたイエスさまにお会いすることができました。

【キリスト教保育 4 月号より抜粋】